

実施：2021年1月11日（月・成人の日） 旧KCK工場跡地

主催：第12回 浦佐地域合同賽の神祭り実行委員会

第12回

地域合同賽の神祭り

1月7日から今季一番の寒波のため記録的な大雪となり、11日賽の神祭り当日は時折青空がのぞきましたが、大和庁舎で積雪量250センチを記録。（前年は0センチ!!でした）8日には事前の踏み固め作業を1時間程度行いましたが、その痕跡は降雪のため分からなくなっていました。

新型コロナウイルス感染症に配慮して今年は豚汁、甘酒等の振る舞いは行いませんでした。それでも注連縄飾りなど大勢の皆様からお持ちいただき、立派な賽の神が出来上がりました。

午前9時、24名のスタッフが集合、3班に分かれて作業に取り掛かります。10時45分、和久井白山神社宮司による神事が始まります。続いて11時に関博行副大区長、小島浦佐公民館長、関賢三跡地利用促進協議員、関常幸市議会議員、そして上村浦佐地域づくり協議会長の5名により賽の神に火が移されました。少人数でしたが地域の方のスルメを焼く姿も見受けられ、賽の神も勢い良く燃え、小正月らしく一年間の無病息災を願う姿が見受けられたことは何よりでした。この一年間もよろしくお願いいたします。

【2020年度賽の神行事 ◇収入166千円(繰越金65千円含む) ◆支出93千円 残72千円は繰越】

※祭りの様子をウェブ・チラシ等に使用させていただいております。



秋から準備、萱刈部隊！
あれ？一人足りない・・・



今年の賽の神!!



事前踏み固め作業・・・13人で頑張りました!



よ～く燃えました!